

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-240-7126
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成29年4月末現在
男 16,666人
女 16,589人
総人口 33,255人
世帯数 13,021世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



●町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



●町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



●町公式インスタグラム

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.59 ユウゲシヨウ

(フトモモ目 アカバナ科)
学名 *Oenothera rosea* L' Her. ex Aiton

写真と文 安 昌美

五月から入梅までは花の多い時期で、花も春から夏のものにかわります。今月は路傍、空き地や水田地帯のあぜ道でも見られるユウゲシヨウを紹介しましょう。

▼ユウゲシヨウとは
マツヨイグサ属に含まれる外来植物で、多年草です。原産地は北アメリカ南部から南アメリカ北部とされ、現在では世界の温暖な地域に広くみられるそうです。日本には明治時代に園芸植物として入り、観賞されていましが、その後野外に広がって、四国、九州に広がっています。水戸周辺でよく見られるようになっています。

近ではないかと思いません。茨城町でも最近では広がった感じがします。

名前はユウゲシヨウ(夕化粧)で、花のよすが、夕方化粧した女の人をイメージさせるところからと言われます。マツヨイグサの仲間には夕方から翌朝にかけて開花する種類が多く、マツヨイグサ(待宵草)、ツキミソウ(月見草)など、よく生態を示しています。しかし、ユウゲシヨウは昼間から開花期間は一から二日だそう。花期は五月から九月とされ、写真には五月に中石崎で午前中に撮影したものです。以前紹介したものは

たヒルザキツキミソウと比較すれば、花は小さい(直径1〜1.5cm)ですが、色は紅色が強いです。

▼ユウゲシヨウの繁殖
マツヨイグサ属植物の袋掛け実験では、袋をかけたグループと掛けないグループで差がないことが知られ、マツヨイグサ属には自動同花受粉も知られています。結実も良いようです。これが、急激に広がる要因の一つにはなると思われます。果実は雨にぬれると開いて種子を散布します。

オオキンケイギクのように特定外来生物に指定されているわけはありませんが、園芸植物の野生化には注意したいものです。

ちびっ子アート 大戸幼稚園



もがみ しおん(5歳)

おおきなたまごがあったら、パンダがうまれてきてほしいな



いけべ あみ(5歳)

おはなのなかで、ちゅうりっぷがだ〜いすき♡